

第2回 寝屋川市産業振興に関する連絡調整会議

日時：平成26年2月20日（木）13：00～

場所：寝屋川市役所議会棟4階第1委員会室

1. あいさつ

会長 開会のあいさつ

2. 会員等の紹介

各会員 自己紹介ならびに近況報告

事務局 あいさつ

(会長)

寝屋川市は昨年12月に豊中市にあります、学校法人大阪音楽大学と包括連携協定を締結しました。先日、産業振興条例及び連絡調整会議についての説明のため大学へご挨拶に伺いました。平成26年度からは連絡調整会議にもご参加いただけたと思われますので、ご報告させていただきます。

3. 案件

(1) 産業振興に関する市の施策について

(平成25年実施分、平成26年度予定分)

(会長)

産業振興室が平成25年度に実施しました、産業振興に関する主な施策について、スライドを用いてご説明させていただきます。

(事務局)

■商業に関する施策

○ねや川バルの開催【第2回 H25.5.25、第3回 H25.10.5】

○香里園バルの開催【第1回 H25.11.2】

○商店街における活性化（ソフト）事業【国（市）補助対象事業】

（商店街内自転車押し歩き啓発、地域と協働で開催された餅つき大会 等）

■工業ならびに就労に関する施策

○大阪府立産業技術総合研究所（和泉市）への見学会【H26.1.28】

参加者 22 名、3D プリンタ等先進機器及び設備を見学

○市内事業所より屋外 AED の寄贈【京阪寝屋川市駅前】

平成 24 年度寝屋川市モノづくり元気企業に認定された㈱スマイレ工作所より自社製品の屋外型 AED が寄贈された。

○三市合同就職面接会【H25.10.25】

枚方市・交野市と合同で実施。今年度は寝屋川市立市民会館で開催。

■その他の施策

○市内事業者向け各種セミナーの開催

・ビジネス未来塾（モノづくり企業の幹部候補生向けの啓発講座）

・創業セミナー（創業希望者に対し事業計画書の書き方などのセミナー）

○産業振興センター耐震補強、エレベーター設置工事

H26.4.1 リニューアルオープン（予定）

■農業に関する施策

○防災登録協力農地【登録件数 221 筆、184,819 m²】

災害時の一時避難空間、復旧資材置場として農家の協力を得て登録。

○レンゲ畑開放農地【開放状況 129 筆、115,230 m²】

景観形成事業の一つ。

毎年4月中旬から5月中旬に農家の協力のもと、無料開放。

子供たちがレンゲ畑で遊ぶ光景が市内各所で見られる。

○地元農産物直販等奨励事業

農協での朝市に加え、市内スーパーにて地元農産物の直販を実施。

また、農業研究クラブが学校給食へ市内農産物を納入。

○イチジク品評会【8月21日実施、出品数 17 点】

14 年前にイチジクを市の農産物にしようと苗木を配付。毎年品評会を実施。着色・肥大・糖度・食味などを審査、表彰。

○農産物品評会【11月7日実施、出品数 59 点】

総合センターで実施。農業団体代表者、大阪府、農協などによる審査。
受賞者は農業まつりにて表彰。

○農業まつり【11月17日開催、参加者15,000人】

打上川治水緑地にてエコフェスタと同時開催。農産物も早々に売り切れるなど毎年盛況である。商業関係団体にも出展に際してご協力いただいている。

【質疑応答】

- (会員) 災害時のための食料や毛布といった備蓄についての管轄はどちらか。空き地に備蓄用倉庫を建てるなど活用してはどうか。また備蓄している食料は何日分くらいあるのか。
- (会長) 災害時の対応についての所管は危機管理室です。また、平成26年度中には市内全小学校に備蓄場所を設置する予定です。食料の量は詳しくは把握していない。※平成26年度中に大阪府分とあわせて約4万人の1日分を確保予定
- (会員) 余った古米を廃棄するのであれば、それを備蓄用に活用したりできないか。
- (会長) お米については、アルファ米を備蓄用に購入しています。
- (会員) 災害に対しては余裕を持って備えないと対応できないと思うので、引き続きお願いしたい。
- (事務局) 食料品については商業団体連合会のご協力を得て、市内の量販店（スーパー等）と災害協定を締結しています。
- (会員) 今後は商・工・農業、就業者に関する統計資料の数値を追っていけば、産業振興が図られているという指標になるのではないか。
- (会長) 国が5年に一度、統計をとっているもので、次回の会議で各数値についてはご提示させていただきます。
- (会員) 寝屋川市駅高架下の自転車の駐輪状態がひどい。
- (会長) 高架下にあるスーパーの駐輪場が少し離れたところに移ったため、自転車で来る方がどうしても近くに停めてしまっているようだ。
- (会員) ねやがわ屋へ行く際、または駅へのエレベーターへ乗るのも難しいくらい、自転車の数が多い。

(会員) 北摂地域では地下に駐輪場を設置している。寝屋川はどうか。

(会長) 駅前道路作るとき、そのような案も出たが、費用対効果の面から実現しなかった。自転車の駐輪に関する苦情は市にたくさん届いており、課題として認識している。

(会員) 東大阪市では住工混在問題が多くあると聞いているが（東大阪市住工共生のまちづくり条例の制定）、工業地域にある事業所が廃業後、住宅が建った場合、ほかの事業所から仕事がしづらいという声は寝屋川市ではないか。

(会長) 寝屋川市内にも住工混在地域はあり、そのような場所で事業をされている事業所は苦勞されていると聞いている。

(事務局) 住工混在問題については、住宅を建てる前に騒音などの事前調査（下見）をされている場合が多い。それでも、時には騒音について事業所に対し指導することもあるが、事業所は騒音対策も積極的にされているところが多い。他方、住宅の中にカラオケ店ができる等、住環境問題のほうが多くなってきている（隣の家生活騒音など）。

(会員) AED 屋外設置は 1 か所だけですか

(事務局) 屋外型 AED は東京オリンピックなどを見据えて開発されたもので、市内での設置は 1 か所ですが、他府県では何箇所か設置されていると聞いている。

(会員) 景気がよくなって人を雇用しようという動きが出ているが、若年者がすぐやめてしまう等の声を聞く。学生さんが市内事業所に就職してもらえないという声も聞く。市内の学生を市内の事業所に就職してもらうような取組はないのか。

(事務局) 市内の高校生が市内企業への見学会に参加し、先輩の話を聞く等の取組を枚方雇用開発協会が実施している。市内中小企業に対する就職についてはなかなか対応できていない。

(会長) （枚方・交野・寝屋川が合同で実施している）就職面接会の参加者も中高年の方が多いのが現状である。

(休憩)

(事務局) 平成 26 年度に実施予定の、産業振興に関する市の施策についてご説明させていただきます。

(配布資料に基づき説明)

(会長) 今まで寝屋川市工業会が開催されていた「ビジネスプランコンテスト」の応募プランは、ものづくり中心のアイデアが多かったが、来年度は商業・工業・農業・連携の4部門で、学生からアイデアを募集し、そのアイデアを具現化するための支援を市が行うことで、市内事業者とのマッチングや市内産業を担う人材の育成といった、寝屋川市の活性化につなげていきたい。事業として成功するプランは数年に1つかもしいないが、学校園(学生)、事業者、市が一緒になって取り組んでいきたいと考えている。まず来年度は(包括連携協定を締結している)8学校法人にお声掛けをしていきたい。各部門賞に対しては市の支援を予定しているが、副賞を産業経済団体さまからお願いできればと考えており、詳しくは改めてご説明させていただきます。また、コンテストの審査委員を連絡調整会議の会員の皆様をお願いする予定です。是非ともご協力をお願いいたします。今、ご説明しました平成 26 年度施策は3月に行われる議会の議決を経て決定しますので、現在は予定ということでご紹介させていただきます。

(2) 会員の皆様からの情報提供について

(会長) まずは〇〇さんお願いします。

(会員) 堀溝小校区の買い物事情についてご説明させていただきます。

資料にもあります通り、堀溝小校区は四條畷市、大東市、門真市に囲まれた地域です。実情把握のために50人(65歳以上、男性5名)にアンケートを実施したところ、買い物は歩いて行けるところが良いという答えが大半でした。また、店頭で実物を見ながら買い物したい、その食材を使って家で調理したいという意見も多かったです。しかし、近隣店舗のほとんどが1キロ以上離れており、大型店舗に行くにはタウンくる(バス)を利用するのが一つの方法だが、交通費がかかるのと本数が少ないのが難点である。今後の対策としては、車の買い物便、買い物受託有償ボランティア、地元施設販売、ネット販売、駅前大型店との提携(バス利用に対するサービス)などが考えられると思う。

(会長) 皆様からご意見、ご質問などありましたらお聞かせいただければと思います。

(会員) 以前、元気わくわく商品券を発行した時に、堀溝小校区のお店に販売をお願いしたが、今はそのお店もなくなっていると聞いている。現在、市内にある商店街全体で買い物弱者対策に取り組んでいる。

(会員) 馴染みのお店（スーパー等）に注文すれば、配達してくれている店もあると聞くが。

(会員) そのようなお店や生協を利用するのも一つの方法だが、やはり実物を目で見て品定めしたいという思い（特に生鮮品）も強い。今後はできるだけその水準を保てるよう、模索していきたい。

(会員) どこに何が売っているかを把握できているくらいの馴染みのお店に頼めば、食品の好み等も理解してくれていて、配達してくれる店もあると聞く。そういう協力店舗が増えるのが理想かと思う。

(会員) 今回頂いた意見を参考に、そういったお店の調査を進めていきたいと考えている。まずは資料の中の「主な店舗」を中心に交渉していければと思う。

(会員) 香里園（成田地区）にある、市（高齢介護室）が管理している「買い物支援用バス」がほとんど動いてない。産業振興室と連携し、機能していければよいと思う。

(会員) 堀溝小校区に対してもその件について市から提案があったが、「誰が運転するのか、事故等があった場合どうするのか」等の課題が出たので、その件については進んでいない。

(会員) タクシーを利用して買い物に来ている人もいると聞くので、そういうことに対する支援をしていただければ良いのかなと思う。

(会長) 他の自治体ではそういう取組（乗合タクシー等）に支援しているところもある。ある地域では、商店街にお客様が来てほしいという思いと地域の高齢者が少しでも外出できる環境を整えるという視点から、ニートの若者に対する就労支援を兼ねて人力車（リヤカー）での買い物支援を行っている。産業の視点で見ると商店街を活性化したいという思いが強くなるが、産業振興室は就労支援も行っているので、関わった人すべてにメリットがあるような事業を考えていかなければならないと思う。

(会員) 私は駅の近くに住んでいるため、買い物に関しては特に不便を感じておら

ず、ありがたいことだと思う。

(会長) 将来、介護保険の適用とまではいかななくても外出がおっくうになってきた高齢者をどのようにして商店街へ出向いてもらうかを考えることはまさしく商業振興なので、今後の状況を見守っていただければと思う。

(会員) 自宅が寝屋川の丘陵地にあるため、日常の買い物が大変だという声をよく聞く。地域で雑貨店（生鮮品含む）をボランティアで運営してはどうかという意見もあった。昔は地域にいろいろなお店があったが、現在は駅前に店が集中していて、少し駅から離れた郊外に住んでいると買い物に不便な地域が多い。中央市場でも小売店向けの仲買いは店を閉めてしまっているところが多いのは、地域の青果店や魚店がなくなってきているということだと思う。〇〇さんの話を聞いて、堀溝小校区はそういった問題に直面されているからこそ、真剣に取り組んでおられるのだなと思った。

(会長) こういう状況について、ベンチャービジネスコンテストにおいてコミュニティビジネスという形で買い物弱者といった課題を解決できる起業提案があれば、まさしく「協働」部門でエントリー頂けるのではないかと考えている。顔の見えるビジネスとして考えてもらうことで、学生さんのモチベーションも上がるのではないか。続きまして、△△さん、よろしく願いします。

(会員) 〇〇さんが実施されたアンケート調査は、まさしくマーケティングのうちの一つであり、素晴らしいことだと思う。今日お配りしているチラシについてだが、3月4日開催する地域産業の課題解決について考える、「ビジネスコミュニケーションカフェ」について説明させていただきます。地域産業の振興について大学としてできることは何だろうか、連携できることは何かということが今回の研究会の趣旨である。皆様にも是非ご参加いただければと思う。

(会長) 今回お二人から情報提供いただいたが、今後も皆様から情報提供いただければ有難いので、産業振興と直接関係ないと思われる事でも、事前に事務局へお申し出頂ければと思う。例えば、病院に来られる患者は公共交通機関を利用される方が多いと思うが、病院へ行くついでに買い物も済ませて帰ろうという高齢者の方も多いのではないか。そういう視点で産業振興と

繋がっていくではないか。

(会員) 4月に実施される診療報酬改定に伴い、国の重点施策として在宅医療、訪問看護に対する大幅な点数改定取組が予定されている。市内には14の病院あるが、それぞれ病院の役割が出てくる。例えば手術に重点を置く病院、在宅医療に重点を置く病院といった、機能分化が必要であると言われている。医療の充実を図るためにも、病院ごとに特色をもった運営を行っていく必要がある。

また、香里病院は駐車場が40台と限られており、周辺をあたっているがなかなか良い場所が見つからない。患者さんは長時間病院に滞在しているわけではないので、駐車場の確保に努めなければならない。病院の機能は変化していくので、患者さんにご迷惑をかけないように取り組んでいかなければならないと考えている。

(会長) 京阪本線の連続立体交差事業が決定しており、寝屋川市駅から枚方市駅までがその対象だが、高架下の利用も含めて香里園周辺も変わっていくのではないかとと思われる。

(会員) ベンチャービジネスコンテストについて、堀溝地区の買い物事情の話聞いて思うことは、学生から夢のような、非現実的なプランが出てきてしまう可能性があるのでは、あらかじめ、募集テーマを寝屋川市の課題解決型と学生としてのベンチャービジネスの2パターン用意してもらい、また、事前に市の課題を提供いただければ、学生も応募がしやすいし、成果を寝屋川市の施策にも反映できるのではないかと。

(会長) (今回のコンテストの主旨は) ビジネスに繋げていくのが目的であるが、具体例を挙げてしまうと応募がそのテーマに集中しかねないので、市の抱えている課題は何処を見ればわかるのかという提案はさせていただきたいと考えている。

(会員) 女子校でかつ市外から通う生徒も多いので、なかなかコンテストの応募には繋がりにくいかもしれない。ただ、学校としてはボランティア活動に力を入れているので、そういう考えを寝屋川市内の課題解決へ目を向けられないかと思う。事前に課題提供があれば「女子視点」で出しやすいかなと思う。

- (会長) 以前、学校が「農業体験」をカリキュラムの一環で実施されていると聞いたが、聖母ブランドの農作物をどこで販売するか等を考えていただくとさらなる付加価値がつくのかなと思う。
- (会員) 本大学が工業系なので商業部門などへ応募は難しいが、それぞれの学校の強みを生かしてビジネスアイデアを社会へ還元する際には、各学校の案を組み合わせるとして成果として還元できればと思う。
- (会長) 優秀な提案（部門賞）に対しては学校園・法人への支援を考えているが、学校園間でチームを結成して事業化できるような制度にしたいとも考えている。
- (事務局) 来年度の連絡調整会議については、7、8月頃の開催を予定している。会員の変更があれば事務局に連絡ください。
- (会長) 本日はありがとうございました。会議としては年2回、またフィールドワークも1回くらいは実施したい。来年度以降も皆様の意見を受け止めて、市の施策に反映させていきたいと考えている。